



通信ソサイエティホームページ <http://www.ieice.or.jp/cs/jpn/>

## 目次

アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ . . . . .	1
衛星通信研究専門委員会からのお知らせ . . . . .	3
環境電磁工学研究専門委員会からのお知らせ . . . . .	4
交換システム研究専門委員会からのお知らせ . . . . .	5
情報ネットワーク・交換システム・通信方式研究専門委員会からのお知らせ . . . . .	6
情報ネットワーク研究専門委員会からのお知らせ . . . . .	7
通信方式研究専門委員会からのお知らせ . . . . .	8
電子通信エネルギー技術研究専門委員会からのお知らせ . . . . .	8
光通信システム研究専門委員会からのお知らせ . . . . .	9
光スイッチング研究専門委員会からのお知らせ . . . . .	10
光ファイバ応用技術研究専門委員会からのお知らせ . . . . .	10
テレコミュニケーションマネジメント研究専門委員会からのお知らせ . . . . .	10
モバイルマルチメディア通信時限研究専門委員会からのお知らせ . . . . .	12
通信ソサイエティマガジン掲載のお知らせ . . . . .	13

アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ

委員長 塩川 孝泰(東北大)

今回は、「アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ」についてお知らせ致します。

アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ(第15回)-広帯域移動通信の多重波伝搬理論とモデリング中級コース-

主催：アンテナ・伝播研究専門委員会  
無線通信システム研究専門委員会

アンテナ・伝播研究専門委員会では、関連する研究専門委員会と連携して、1994年度から第二種研究会として「アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ」を開催して参りました。これは、アンテナ・伝搬研究者や技術者を主たる対象に、設計・解析の実力向上を図ることを目的とするもので、これまでに、第1回目「モーメント法によるアンテナ解析入門コース」から第14回目「アンテナ測定法の基礎と実際」を実施し好評を頂いております。

今回の第15回ワークショップは、無線通信システム研究専門委員会との共催により、デジタル移動通信で大きな関心が寄せられている「広帯域移動通信の多重波伝搬理論とモデリング中級コース」をテーマとして開催いたします。本講習は中級コースとして、今後の広帯域伝送に必須となる多重波の伝搬問題、フェージング、その対策などに重点を置いて実施します。奮ってご参加下さい。

#### 講義内容

移動通信、特に広帯域の移動通信伝搬環境を理解するために必要な伝搬基礎理論と、それに基づく伝搬チャネルモデルを平易にかつ詳しく解説します。また、広帯域のデジタル伝送特性が電波伝搬によって劣化するメカニズムを解説します。本講義では、多重波伝搬のメカニズム、信号レベルの変動特性や時間・空間・周波数領域での相関特性、電波伝搬とシステムの関わりへの理解を目的としています。具体的には以下の項目に沿って講習を進めます。

- (1) デジタル移動通信と電波伝搬
- (2) 電波伝搬モデルに現われる確率分布

- (3) 伝送路表現の基礎
- (4) レイリーフェージングの理論
- (5) 仲上 - ライスフェージングの理論
- (6) ダイバーシチの理論
- (7) 伝搬チャネルモデル
- (8) デジタル伝送特性と伝搬モデル

なお、テキストは受講者に約4週間前に配布され、予習を前提としています。

- 記 -

日時：1999年9月6日(月) 9:30~17:00  
1999年電子情報通信学会  
ソサイエティ大会(9/7-10,日大)  
の前日

会場：東京工業大学百年記念館3階フェライト会議室  
〒152-8552 東京都目黒区大岡山 2-12-1  
東京工業大学キャンパス内  
東急「大井町線」あるいは「目蒲線」  
大岡山駅下車、徒歩2分

講師：唐沢 好男 氏(電通大)

受講定員：80名

受講料：一般 / 15,000円,  
学生(大学院生も含む) / 5,000円  
含テキスト代金

申し込み受け付け後、事務局から受講受付番号と受講料振り込み案内をお送りしますので、それに従って受講料をお支払い下さい。

受講申し込み期間：

1999年6月1日(火)~7月26日(月)

(先着順：満員になり次第締め切ります)

受講申し込み方法：

AP研のホームページで申込み要領を確認の上、E-mail あるいは FAX により、下記の受講申込先宛お申し込み下さい。(郵送、電話申込不可)

#### 【受講申込先】

アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ 第15回実行委員会

事務局 森田友希子

(東京工業大学 工学部

電気電子工学科 安藤研究室気付)

E-mail: workshop@antenna.pe.titech.ac.jp

FAX: 03-5734-2901

#### 【問合せ先】

アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワーク

ショップ 第15回実行委員会  
総務担当幹事 山口 芳雄  
(新潟大学 工学部 情報工学科)  
Tel&Fax: 025-262-6752  
E-mail: yamaguch@info.eng.niigata-u.ac.jp  
長谷 良裕 (通信総合研究所)  
Tel: 0468-47-5060 Fax: 0468-47-5069  
E-mail: hase@crl.go.jp

アンテナ・伝搬研究会の今後の予定〔 〕内  
発表申込締切日 (すべて IEEE AP-S Tokyo  
Chapter と共催)

5月13日(木),14日(金)  
「最近の衛星通信技術,一般」  
SAT研,URSI-Fと共催  
東北大〔3月10日〕  
6月17日(木)「一般」  
機械振興会館〔4月10日〕  
7月22日(木),23日(金)「一般」  
URSI-Fと共催  
北海道東海大〔5月10日〕  
8月26日(木),27日(金)「一般」  
EMCJ研,EMT研と共催  
アクロス福岡〔6月10日〕  
9月16日(木)「リモートセンシング,一般」  
SANE研と共催  
防衛大〔7月10日〕

なお,最新のプログラムは  
<http://www.ieice.or.jp/cs/jpn/ap> をご覧下  
さい.

【研究会の発表申込先・問合せ先】  
牧野 滋 E-mail: ap@mail.ieice.or.jp  
TEL: 0467-41-2532, FAX: 0467-41-2519  
ホームページ

(<http://www.ieice.or.jp/cs/jpn/ap>)にて,研  
究会の予定・プログラムなど様々な情報の提供  
を行っております.また,掲載記事の希望,御  
意見などありましたら ap@mail.ieice.or.jp ま  
でお願い致します.

衛星通信研究専門委員会からのお知らせ

委員長 高畑 文雄 (早大)

衛星通信(SAT)研究会の今後の開催計画を  
お知らせします.皆様の積極的な投稿,参加  
をお願い致します.

5月13日(木),14日(金)  
会場:東北大学  
共催:AP研究会  
テーマ:最近の衛星通信技術及び一般  
発表申込締切日:3月19日  
原稿締切日:4月中旬  
6月17日(木),18日(金)  
会場:名古屋大学  
共催:SST研究会,ITS研究会  
テーマ:符号化・変復調・アクセス技  
術及び一般  
発表申込締切日:4月20日  
原稿締切日:5月下旬  
7月22日(木),23日(金),24日(土)  
会場:北海道東海大学  
共催:CQ研究会,AP研究会  
テーマ:衛星通信,放送と品質及び一  
般  
発表申込締切日:5月20日  
原稿締切日:6月下旬  
10月22日(金)  
会場:群馬大学  
共催:CS研究会  
テーマ:マルチメディア衛星通信及び  
一般  
発表申込締切日:8月20日  
原稿締切日:9月下旬  
11月19日(金)  
会場:大阪市立大学  
テーマ:一般  
発表申込締切日:9月20日  
原稿締切日:10月下旬  
1月20日(木),21日(金)  
会場:香川大学  
共催:RCS研究会,DSP研究会  
テーマ:衛星通信,放送と品質及び一  
般  
発表申込締切日:11月18日  
原稿締切日:6月下旬  
2月25日(金)  
会場:鹿児島大学(自治会館)  
共催:SANE研究会  
テーマ:宇宙通信システムと衛星搭載  
機器及び一般  
発表申込締切日:12月16日

原稿締切日：1月下旬

お申し込み（エントリー）は下記発表申込・問合せ先まで E-mail または FAX でお願ひします。なお、お申し込みの際は以下の内容をご記入下さい。

題目

氏名（発表者を明示）

所属

内容概要（200字程度）

連絡先

（住所、氏名、電話 / FAX / E-mail）

【発表申込・問合せ先】

E-mail : sat@ieice.or.jp

又は

南園 健一（KDD研究所）

TEL : 0492-78-7855, FAX : 0492-78-7524

風間 宏志（NTT未来ねっと研究所）

TEL : 0468-59-2296, FAX : 0468-55-1497

環境電磁工学研究専門委員会からのお知らせ

委員長 杉浦 行（CRL）

今回は99年2月にチューリッヒで開催されましたEMC Zurich'99参加報告、IEEE Tans.on EMC、ならびに通信ソサイエティ英文論文誌EMC特集号の論文募集、および、EMC '99 TokyoのResistrationのご案内と第1種研究会の今年度の開催予定をお届けいたします。

EMC Zurich 参加報告

ポーランドと隔年で行われている、スイスにおける環境電磁工学の国際シンポジウムである13th International Zurich Symposium & Technical Exhibition on electromagnetic compatibility (EMC Zurich)は、チューリッヒにて、現地時間の2月15日から2月18日まで(2月19日はテクニカルツアー等の開催日)の日程で行われた。初日15日は、チュートリアル及びオープンミーティング3つが平行セッションで行われた。チュートリアルは午前と午後で内容が違い、午前は電子機器からの電磁界放射の

予測・計算手法、または放射電磁界の人体への影響などについての講演、午後はモーメント法を中心としたアンテナなどからの電磁界放射パターンなどの計算手法についての講演が行われた。オープンミーティングはESD(静電気放電)に関するセッション(ESDEM)、URSIのE分科会及び電磁界の人体に対する影響に関するセッション(COST)の3つで、筆者はESDEMのオープンミーティングに参加した。内容は主にESDによる電流の流入や放射電磁界に強い半導体素子の設計方法や、ESDによる誘導電流量の計算手法などの発表があった。

16日から18日までは通常のセッションで、一件の発表時間は17分から20分、言語は英語で行われた。当シンポジウムの投稿件数は212件で、そのうち採択された論文数は119件で、EMCのシンポジウムとしては採択率が低い。発表者の国籍の内訳は、一番多かったのはイタリアで23件、次いで米国とドイツが各々19件、フランスが12件、オランダと英国が各10件の順であった。日本は9件でそれに次いでいる。主催国のスイスは意外にも6件と少なかった。

セッションの構成は3平行セッションで、各セッションにおける件数は6～9件である。午前と午後ではテーマが違うので、一日に6テーマのセッションが行われる。各講演部屋にはスクリーンが4枚用意され、中央の2枚は講演者用、左は伝達事項用、右は各部屋の現在の講演者の表示となっており、右の表示は同時進行の複数のセッションを聴きたい場合などの利便のために設けられている。どのセッションも一件当たりの質問数は3～7件と多く、活発な討論、質問、コメントがあった。

この期間中、同時にEMC用のアンテナ、測定器、暗室などのメーカーによる展示会も開催されていた。出展企業数は約40社であった。

（執筆者：石上 忍 CRL）

IEEE Trans. EMC の Special Issue 論文募集

今回、日本においてなされた優秀なEMCの研究成果を世界に向かって積極的に発信することを目的として、"日本におけるEMC研究(EMC Research in Japan)"と題して特集号を企画する運びとなりました。以下の募集要項にしたがい奮ってご応募下さい。

(1)日程

原稿締め切り : 1999年5月31日  
第1回査読結果報告 : 1999年12月初旬  
採録決定 : 1999年3月末  
発行 : 1999年11月号

(2)原稿

原稿の作成方法は、IEEE Trans. EMC への投稿の場合と同じ要領です。表紙には、論文題名、著者名、連絡先の住所・電話番号・E-mail アドレスのみを記し、次ページから、論文題名(著者名は省く)、200語以内のAbstract、Key words、本文とつづけてお書き下さい。原稿はダブルスペースで印字し、この論文原稿を4組送付して下さい。さらに、署名した IEEE Copyright form (Trans. EMC 2月号にありますのでコピーしてご使用下さい)を添付して下さい。

なお、IEEE Trans. EMC の最終ページに掲載の "INFORMATION FOR AUTHORS" もご参照ください。採録決定後の最終原稿は電子メディアで要求されます。

【論文送付、問合せ先】

上芳夫(電気通信大学)

〒182-8585 東京都調布市調布が丘 1-5-1  
TEL: (0424)43 5241, FAX: (0424)43 5784  
E-mail: kami@aerial.cas.uec.ac.jp

(論文送付の場合、封筒に 'IEEE EMC 特集号原稿' と表記して下さい。)

英文論文誌「最近のEMC技術」小特集号  
論文募集

通信ソサイエティでは2000年3月発行の英文論文誌B分冊に掲載の予定で、「最近のEMC技術」小特集号 "Special Issue on Recent Progress in Electromagnetic Compatibility Technology" を企画しています。投稿論文の締め切りは1999年7月1日(木)です。詳しくは3、4、5月号の電子情報通信学会誌等に掲載されるCall for Paperをご覧ください。

【問合せ先】

桑原 伸夫 (NTT生活環境研究所  
電磁環境研究グループ)

〒180-8585 東京都武蔵野市緑町3-9-11  
TEL: (0422)59 3482, FAX: (0422)59 3314  
Email: kuwabara@ntttqn.tnl.ntt.co.jp

EMC '99/TOKYO Registrationのご案内  
会議の名称: 1999年環境電磁工学国際シンポジ

ウム(1999 International  
Symposium on Electromagnetic  
Compatibility)

期 日 : 1999年5月17日 - 21日  
開催場所 : 中央大学駿河台記念館(千代田区  
神田駿河台3-11-5)  
主 催 : 電子情報通信学会通信ソサイエティ, 電気学会  
共 催 : IEEE EMC Society, IEEE EMC-S Tokyo  
Chapter  
登 録 : Regular Registration ¥45,000  
Student Registration ¥25,000

【問合せ・申込先】

EMC'99/TOKYO 事務局 (株)リアライズ社  
〒113-0033 文京区本郷4-1-4 コスモス本郷ビル8階  
TEL: (03)3815 8590, FAX: (03)3815 8529  
E-mail: real@blue.ocn.ne.jp  
公式ホームページ (<http://www.cs.takushoku-u.ac.jp/is/emc99/>) に詳細な情報がございましたのでご覧ください。

平成11年度EMC研究会の予定

[ ]内は発表申込締切日

4月22日(木) [締切済]

会場: 機械振興会館

5月 休会

6月17日(木) [4月16日(金)]

会場: 長野県精密工業試験場(岡谷市)

7月29日(木) [5月20日(木)]

会場: 機械振興会館

共催: エレクトロニクス実装学会・電磁特性研究会

8月26日(木)・27日(金) [6月10日(木)]

会場: アクロス福岡

共催: AP研究会, EMT研究会

9月(日程未定) [7月19日(月)]

会場: 岡山大学工学部

10月(日程未定) [8月20日(金)]

会場: 山形大学工学部

共催: MW研究会・電気学会計測技術委員会

11月(日程未定) [9月20日(月)]

会場: 未定(関西地区予定)

12月(日程未定) [10月20日(水)]

会場: 豊橋技術科学大学

2000年1月(日程未定) [11月18日(木)]

会場：東京農工大学

2月 休会

3月(日程未定) [1月20日(木)]

会場：機械振興会館

共催：映像情報メディア学会 無線・光伝送研究会

【発表申込み・問合せ先】

和田 修己(岡山大学工学部電気電子工学科)

〒700-8530 岡山市津島中3-1-1

TEL: (086)251 8137, FAX: (086)251 8136

E-mail: wada@elec.okayama-u.ac.jp

交換システム研究専門委員会からのお知らせ

委員長 鈴木 滋彦(NTT)

1998年交換システム研究賞受賞者のご紹介

交換システム研究専門委員会では、1994年より交換システム研究会で発表された技術研究報告の中から、研究専門委員の投票によって優秀な報告を選定し、交換システム研究賞として表彰してまいりました。

第5期にあたる今回は、1998年1月から12月までの交換システム研究会での技術研究報告(交換システム研究専門委員会にエントリされた全159件)を対象に、研究専門委員からの推薦により受賞候補を17件に絞り込み、さらに研究専門委員による投票を実施しました。

その結果、以下の4件を1998年交換システム研究賞に選定し、3月17日にホテルハーヴェスト(紀伊田辺)にて表彰式を実施しました。受賞者の皆様おめでとうございます。

SSE97 - 199 ATM 網におけるレート型輻輳制御方式の安定性解析

大崎博之, 村田正幸, 宮原秀夫(阪大)

SSE98 - 32 スケーラブルセル分配/集線 ATM スイッチの提案と特性評価

安川正祥, 山中直明(NTT)

SSE98 - 52 大規模インタネット構築に関する検討

渡辺直聡, 川崎 健, 高島研也,

江崎 裕(富士通研)

SSE98 - 74 ATM-CL 網でのセルフサイジングにおける帯域推定方法の提案

谷川真樹, 豊泉 洋, 近藤 隆,

土屋利明(NTT)

本研究会(SSE)の今後の予定を以下に示します。皆様の積極的な投稿, 参加をお待ちしております。

SSE 研究会今後の予定

[ ] 内発表申込締切日

4月27日(火), 28日(水) [締切済]

開催地 高知工科大学

テーマ

[インテリジェントネットワーク, 一般]

5月20日(木), 21日(金) [締切済]

開催地 九州工業大学

テーマ [トラヒック, 一般]

5月21日に同会場にて研究専門委員会を開催いたします。

6月22日(火) [4月16日]

開催地 幕張テクノガーデン

(千葉市美浜区)

テーマ [ATM, 一般]

7月22日(木), 23日(金) [5月20日]

開催地 福井大学

テーマ [アクセス系無線, 移動交換, 一般]

RCS研究会と共催

9月27日(月), 28日(火) [7月16日]

開催地 東北大学

テーマ [未定]

IN研究会, CS研究会と共催

最新情報は、交換システム研究会ホームページをご覧ください。

<http://www.ieice.or.jp/cs/jpn/sse/>

【SSE発表申込・問合せ先】

発表申込, お問い合わせは

E-mail: sse@ieice.or.jp

(幹事および幹事補佐宛)

または,

荒川守人(NTT)

〒180-8585 武蔵野市緑町3-9-11

TEL: 0422-59-7043, FAX: 0422-59-4475

E-mail: Arakawa.Morihito@nslab.ntt.co.jp

須田宏一(NTT)

〒180-8585 武蔵野市緑町3-9-11

TEL: 0422-59-4030, FAX: 0422-59-4475

E-mail: Suda.Koichi@nslab.ntt.co.jp

情報ネットワーク研究専門委員会・交換システム研究専門委員会・通信方式研究専門委員会からのお知らせ

情報ネットワーク研究専門委員会  
委員長 齋藤 孝文 (NTT)  
交換システム研究専門委員会  
委員長 鈴木 滋彦 (NTT)  
通信方式研究専門委員会  
委員長 広崎 膨太郎 (NEC)

第3回アジア太平洋情報通信シンポジウム  
1999 (APSITT'99)

情報ネットワーク研究専門委員会, 交換システム研究専門委員会, 通信方式研究専門委員会では, モンゴル技術大学と共催で, 標記の第二種研究会を開催します. 皆様の参加をお待ちしております.

委員長 : 井上友二 (NTT)  
副委員長 : 齋藤孝文 (NTT), 田中良明 (早大), 広崎膨太郎 (NEC)  
開催期間 : 平成11年8月30日, 31日  
会場 : モンゴル技術大学  
(モンゴル・ウランバートル)  
主催 : 情報ネットワーク研究専門委員会,  
交換システム研究専門委員会,  
通信方式研究専門委員会,  
モンゴル技術大学

内容 :

情報通信技術全般を対象にし, 論文発表等を通じ, 日本, モンゴルおよび諸外国の学術的交流を深めることを目的とします. シンポジウムの概要を以下に示します.

- 1) オープニングセッション  
(モンゴル大統領等によるスピーチ)
- 2) ゲストスピーチセッション  
(日本, モンゴル等の著名な研究者による講演)
- 3) テクニカルセッション (論文発表)
- 4) クロージングセッション  
(日本, モンゴル等のパネリストによるパネル討論)

【参加申込み・問合せ先】

APSITT '99 登録担当 石橋圭介 (NTT)

TEL 0422-59-3407, FAX 0422-59-2829

E-mail : apsitt99@hashi.tnl.ntt.co.jp

HomePage:

<http://www.ieice.or.jp/jpn/callforpaper.html>

情報ネットワーク研究専門委員会からのお知らせ

委員長 齋藤 孝文 (NTT)

1998年情報ネットワーク研究賞受賞者のご紹介

情報ネットワーク研究専門委員会では, 例年情報ネットワーク研究会で発表された技術研究報告の中から優秀な報告を選定し, 「情報ネットワーク研究賞」として表彰しております.

この度, 第5回にあたる1998年情報ネットワーク研究賞表彰では, 1998年1月から12月までの期間に情報ネットワーク研究会で発表された技術研究報告 (情報ネットワーク研究専門委員会にエントリされた全144件) を対象に, 研究専門委員の投票により以下の4編を選定し, 3月17日, ホテルハーヴェスト (紀伊田辺市) における第15回交換システム・情報ネットワーク研究ワークショップ懇親会において表彰しました.

受賞者の皆様, おめでとうございます.

IN97-152 「ABR用Application Program Interfaceについて」

小池新・川原崎雅敏 (NTT)

IN97-186 「高速マルチレイヤ処理1チップスイッチアーキテクチャ」

小林正好・村瀬勉・定村正 (NEC)

IN98-99 「QoS保証型通信を実現するストリーム型ATM NIC-シェーパへの適用-」

小田孝和・藤井裕順・中野義久・鈴木宗良 (NTT)

IN98-101 「制御理論を用いたTCP/IPネットワークにおけるウィンドウ型フロー制御方式の特性解析」

大崎博之・村田正幸・潮俊光・宮原秀夫 (阪大)

情報ネットワーク (IN) 研究会今後の予定

本研究会（IN）の今後の予定を以下に示します。皆様の発表申込，参加をお待ちしております。〔 〕内は発表申込の予定締切日。

5月14日（金）〔締切済み〕  
開催地：機械振興会館  
テーマ：新しいネットワーク設計技術  
および一般

6月18日（金）〔4月20日〕  
開催地：横須賀リサーチパーク  
テーマ：マルチメディアおよびワイアレス  
通信網の性能評価と待ち行列モデル  
および一般

同時開催：OR学会（Q部会）

7月16日（金）  
開催地：広島市立大学  
テーマ：インターネット，マルチメディア  
および一般

8月休会

9月27,28日（月，火）  
開催地：東北大学

テーマ：未定  
共催：CS研究会、SSE研究会

10月中旬  
開催地：機械振興会館  
テーマ：次世代インターネット，一般

共催：CQ研究会  
11月18,19日（月，火）  
開催地：北海道大学

テーマ：未定  
同時開催：情報処理学会 DPS研究会  
12月休会

#### 【IN発表申込・問合せ先】

石橋 圭介（NTT）  
〒180-8585 東京都武蔵野市緑町3-9-11  
Tel:0422-59-3407, Fax:0422-59-2829,  
E-mail:isibasi@hashi.tnl.ntt.co.jp  
佐藤 和弘（NTT）  
〒180-8585 東京都武蔵野市緑町3-9-11  
Tel:0422-59-2755, Fax:0422-59-2829  
E-mail:sato@hashi.tnl.ntt.co.jp

通信方式研究専門委員会からのお知らせ

委員長 広崎 膨太郎（NEC）

通信方式(CS)研究会の今後の予定  
〔 〕内発表申込締切日

4月19日,20日（月，火）〔申込締切済〕  
会場：高知工科大

共催：IN研究会、MVE研究会  
テーマ：マルチメディア通信・情報流通，  
一般

5月27日,28日（木，金）〔申込締切済〕  
会場：室蘭工業大学

共催：OCS研究会  
テーマ：アクセス系（光・メタリック），  
一般

招待講演（高速メタリックアクセス方式）：  
1）海外におけるADSLの展開動向  
（仮題）  
2）XDSLの最新技術動向（仮題）  
3）我が国におけるADSLの適用性評価  
（仮題）

6月24日,25日（木，金）〔4月14日〕  
会場：九州大学

共催：RCS研究会  
テーマ：モバイルマルチメディア通信，  
一般

7月21日,22日（水，木）〔5月19日〕  
会場：香川大学

共催：SST研究会、DSP研究会  
テーマ：パーソナル通信用信号処理，一般

8月休会

#### 申し込み方法

お申し込みは，以下の内容を，なるべくE-mail  
でお願いします。

受付の確認のメールを差し上げます。

- ・ 題目
- ・ 氏名（発表者を明示）
- ・ 所属学会  
（通信，電気，映像情，ME，音響，照明，応物，画像  
電，情報処）
- ・ 勤務先
- ・ 論文の性格（理論／シミュレーション，理論  
と実験結果の対照，施設工事等の報告，実験  
結果の報告，試作品あるいは製品化の報告，  
その他）
- ・ 内容概要（200字程度以内）
- ・ 連絡先（郵便番号，住所，氏名，TEL，FAX，E-

mail)  
発表申込・問合せ  
山下幹夫 ( NEC アクセスシステム開発本部第  
一開発部 )  
TEL: (044)435-5641, FAX: (044)435-568  
E-mail : myamashi@acs.tmg.nec.co.jp

電子通信エネルギー技術研究専門委員会からのお知らせ

委員長 戸高 敏之 (同志社大)

今年度の第1種研究会を以下のように予定しておりますので、みなさまのご参加、ご投稿をよろしくお願い致します。

第1回研究会

日 時 : 5月17日  
場 所 : 機械振興会館 (東京)  
小テーマ : スイッチングレギュレータ  
及び電力変換一般  
電気学会産業電力電気応用研究会と共催

第2回研究会

日 時 : 7月  
場 所 : 北海道地区  
小テーマ : エネルギー技術関連  
発表申込締切日 : 5月10日

第3回研究会

日 時 : 9月  
場 所 : 機械振興会館 (東京)  
小テーマ : 部品・デバイス・材料技術関連  
発表申込締切日 : 7月10日

第4回研究会

日 時 : 11月  
場 所 : 関西地区 (京都)  
小テーマ : 回路・制御技術関連  
発表申込締切日 : 9月10日

第5回研究会

日 時 : 2000年1月  
場 所 : 機械振興会館 (東京)  
小テーマ : 電池技術関連  
発表申込締切日 : 11月10日

電子部品・材料研究会と共催

第6回研究会

日 時 : 2月  
場 所 : 九州地区 (長崎)  
小テーマ : 回路技術関連  
発表申込締切日 : 12月10日

【発表申込先・問合せ】

山下隆司 (NTT 通信エネルギー研究所)  
〒180-8585 武蔵野市緑町3-9-11  
TEL [0422] 59-2350, FAX [0422] 59-2347  
E-mail : yamataka@ilab.ntt.co.jp

光通信システム研究専門委員会からのお知らせ

委員長 鳥羽 弘 (NTT)

委員長、幹事が交代した新しい光通信システム研究専門委員会からのお知らせです。今後とも、よろしく願いいたします。

99年度前半の計画

みなさまの積極的なご投稿、ご参加をお待ちしております。

4月 休会

5月27/28日 (木、金)

場 所 : 北海道・室蘭工大

共 催 : CS研究会

テーマ : 「アクセスシステム  
(光・メタリック), 一般」

申込締切 : 3月18日 (締切済)

6月25日 (金) 午後

場 所 : 東京・機械振興会館 (6階65号室)

テーマ : 「IPバックボーン, 長距離大容量,  
一般」

申込締切 : 4月16日 (金)

7月29/30日 (木、金)

場 所 : 京都・ATR (01会議室)

共 催 : OFT/PS研究会

テーマ : 「光信号処理・光情報制御, 一般」

申込締切 : 5月18日 (火)

8月 休会

9月17日 (金)

場 所 : 豊橋技科大

共 催：映像情報メディア学会無線・  
光伝送研究会  
テーマ：「光映像伝送,光モジュール,  
光計測/光応用および一般」  
申込締切：7月16日(金)

-----  
お申し込み(エントリー)は下記発表申込・問  
合先までE-mail(またはFAX)でお願いします。  
なお,お申し込みの際は以下の内容をご記入下  
さい。

題目  
氏名(発表者を明示)  
所属学会  
勤務先  
論文の性格(純然理論,理論と実験結果の  
対照,施設工事等の報告,  
実験結果の報告,試作品ある  
いは製品化の報告,など)  
内容概要(200字以内)  
連絡先(住所,氏名,電話/FAX/E-mail)

【発表申込・問合せ先】  
重松 昌行(住友電気工業 横浜研究所)  
TEL〔045〕853-7171,FAX〔045〕851-1557  
E-mail:shige@yklab.sei.co.jp

光スイッチング研究専門委員会からのお知らせ

委員長 小関 健(上智大)

PS研究会の今後の予定  
皆様の積極的な投稿,参加をお待ちしておりま  
す。

4月21日(水)  
場 所：機械振興会館  
テーマ：一般  
7月29,30日(木,金)  
場 所：京都・ATR  
共 催：OCS,OFT研究会  
テーマ：「光信号処理・光情報制御、一般」  
10月28,29日(木,金)  
場 所：北海道地区  
テーマ：一般,ワークショップ併催予定  
12月  
場 所：未定(地方)  
共 催：SSE研究会

1月18,19日(火,水)

場 所：京都大  
共 催：OPE,LQE,EMT研究会  
テーマ：未定

最新情報は,光スイッチング研究会ホームペ  
ージをご覧ください。

<http://www.ieice.or.jp/cs/jpn/ps/>

【発表申込・問合せ先】

葉原敬士 (NTT未来ねっと研究所)  
TEL: 0468-59-8305, FAX: 0468-59-5031  
E-mail habara@exa.onlab.ntt.co.jp  
藤原雅彦(NEC光・超高周波デバイス研究所)  
TEL: 044-856-2334, FAX: 044-856-2224  
E-mail fujiwara@oel.cl.nec.co.jp

光ファイバ応用技術研究専門委員会からのお知らせ

委員長 藤井 陽一(日大)

光ファイバ応用技術研究会(OFT)の平成11  
年度前半の開催予定をお届けします。会員の皆様の,  
多数のご参加をお願いいたします。

第1回研究会

日時：平成11年5月14日(金)13:00~17:00  
会場：NTT アクセスサービスシステム研究  
所(茨城県つくば市)

共催：単独

テーマ：光ファイバセンシング・光計測応用,  
一般

NTT アクセスサービスシステム研究所  
の研究施設の見学会を予定しています。

申込み締切：締切済み

第2回研究会

日時：平成11年7月29日(木),30日(金)  
会場：関西ATR

共催：OCS,PS

テーマ：光信号処理・光情報制御、一般

申込み締切：5月18日(火)

第3回研究会

日時：平成11年9月  
会場：東京地区を予定

共催：単独

テーマ：一般

【発表申込・問合せ先】

坪川 信(NTTアクセスサービスシステム研

研究所)

〒305-0805 茨城県つくば市花畑 1-7-1  
TEL: 0298-52-5703, FAX: 0298-52-5706  
E-mail: tubokawa@ansl.ntt.co.jp  
渡辺幸一郎 (フジクラ 光アクセス網研究所)  
〒285-8550 千葉県佐倉市六崎 1440  
TEL: 043-484-3945, FAX: 043-484-3988  
E-mail: kwatanabe@lab.fujikura.co.jp

テレコミュニケーションマネジメント研究専門委員会からのお知らせ

委員長 江尻 正義 (富士通)

1998 年テレコミュニケーションマネジメント(TM)研究賞・功労賞

1998 年に発表された優秀論文の著者に贈られる TM 研究賞、1998 年の活動において TM 研究会の発展に著しく貢献した人物に贈られる TM 功労賞の表彰式が、3 月 4 日(木)、5 日(金)に沖縄で開催された TM ワークショップにて行われ、以下の方々を受賞されました。

・ TM 研究賞

(1) "異種管理プロトコルを考慮した通信網管理システムの構成法(TM-98-24)"

依田 育生 様, 後藤 哲明 様,  
川幡 太一 様 (NTT)

(2) "動的拡張 NMS の応対性向上方式(TM-98-31)"江頭 徹 様, 桐葉 佳明 様 (NEC)

・ TM 功労賞

(1) APNOMS'98 における組織委員としての活動による TM 分野の学術交流活性化ならびに技術の発展に寄与

東 充宏 様 (富士通), 多田 壽 様 (NEC),  
椿原 康伸 様 (KDD), 平田 俊明 様 (日立)

(2) 熱心な討論への参加, TM 研究会運営への支援活動により学術交流活性化ならびに技術の発展に寄与 夏川 勝行 様 (NTT)

APNOMS'99 論文募集案内

1999 Third Asia-Pacific Network Operations and Management Symposium

"Meeting the Challenge in End-to-End Service Management"

September 1-3, 1999 Kyongju, Korea

Sponsored by KICS KNOM and IEICE TM  
Supported by IEEE CNOM, TMF & IEEE APB

Emergence of new information and networking technologies and sophisticated customer requirements are changing the way network operators and service providers do their businesses. Network operations and management has become one of the most important issues in realizing successful businesses and providing customer satisfactions. 1999 Third Asia-Pacific Network Operations and Management Symposium (APNOMS'99) follows the successful APNOMS'97 held in Seoul, Korea and APNOMS'98 held in Sendai, Japan. APNOMS'99 will be an excellent opportunity for researchers, developers and practitioners to learn and share ideas, views, technologies and experiences on network operations and management.

You are cordially invited to submit original papers for consideration to be presented at APNOMS'99.

Areas of interest include, but are not limited to:

- CORBA-based Management
- Experiences with TMN
- Intelligent Network Management
- Management Platforms
- Management of Broadband Networks
- Models and Architectures
- PCS/Mobility Management
- Performance Management
- Service Management
- Security Management
- Web-based Management
- Customer Care and Billing
- Distributed Systems Management
- Event Management & Correlation
- Human Factors and User Interfaces
- Hot New Technologies & Trends
- Inter-working with Legacy Environments
- Intelligent Agent Technology
- Internet/Intranet/Extranet Management
- Management of Access Networks
- Operations Experiences & Case Studies

- Quality-of-Service Management

Instructions:

Papers are to be submitted in English. The cover page should include paper title, brief abstract, list of key-words, author(s) full name(s), affiliation(s) and complete address(es), telephone number(s) and electronic mail address(es). Please state the name of the contact person. Paper submissions should consist of no more than 12 visuals with explanatory text accompanying each one. The format should have a visual in the upper half of a page and the explanatory text in the lower half.

APNOMS'99 paper submissions will be done electronically only.

Authors are requested to submit an electronic version (Powerpoint 7.0) of the paper to:  
<http://dpm.postech.ac.kr/knom/apnoms99/submit/>.

Please send any enquires on APNOMS'99 to TPC Co-Chairs:

James Won-Ki Hong  
Dept. of Computer Science &  
Engineering  
POSTECH  
Hyoja San 31, Pohang Korea  
790-784  
Tel: +82-562-279-2244  
Fax: +82-562-279-5663  
Email:  
[jwkhong@postech.ac.kr](mailto:jwkhong@postech.ac.kr)

Takafumi Chujo  
Network Systems  
Laboratories  
Fujitsu Laboratories Ltd.  
4-1-1 Kamikodanaka,  
Nakahara-ku  
Kawasaki, 211-8588 Japan  
Tel: +81-44-754-2635  
Fax: +81-44-754-2741  
Email:  
[chujo@flab.fujitsu.co.jp](mailto:chujo@flab.fujitsu.co.jp)

Important Dates:

Deadline for Receipt of

Papers:..... May 1, 1999

Notification of Acceptance Mailed:

..... July 1, 1999

Final Camera-Ready Papers Due:

..... August 1, 1999

For more information on APNOMS'99, please visit its Web page:

<http://dpm.postech.ac.kr/knom/apnoms99/>

テレコミュニケーションマネジメント(TM)  
研究会の今後の予定( [ ]内発表申込締切日)

6月4日(金) [4月9日(金)]

会場:道民活動センタ(札幌 北海道)

テーマ:一般

7月22日(木), 23日(金) [5月14日(金)]

会場:高知工科大(高知)

テーマ:ソフトウェア技術,一般

11月[未定]

会場:NTT 武蔵野研究開発センタ(東京)

共催:交換システム研究会

テーマ:未定

2000年1月[未定]

会場:北九州(福岡)

共催:情報ネットワーク研究会,  
オフィスシステム研究会

テーマ:未定

2000年3月(TM ワークショップと第一種研究会併催) [未定]

会場:沖縄

テーマ:未定

【TM発表申込・問合先】

池内 哲之 (NTT)

〒239-0847 横須賀市光の丘 1-1

NTT 情報流通プラットホーム研究所

次世代情報ネットワークプロジェクト

TEL: 0468-59-2249, FAX: 0468-59-3729

E-mail: [ikeuchi@nttmhs.tnl.ntt.co.jp](mailto:ikeuchi@nttmhs.tnl.ntt.co.jp)

モバイルマルチメディア通信時限研究専門委員会からのお知らせ

委員長 富永 英義(早大)

今回は, 99年3月に神戸有馬温泉にて開催  
されました第3回モバイルマルチメディア通信

ワークショップ MoMuC-J3 報告をお届けします。

### 第 3 回モバイルマルチメディア通信ワークショップ

Mobile Multimedia Communication Workshop  
JAPAN 3 (MoMuC-J3) 開催報告

委員長：富永英義（早大）  
副委員長：赤岩芳彦（九大），服部武（上智大）  
主催：電子情報通信学会モバイルマルチメディア通信時限研究専門委員会  
日時：1999年3月11日（木）～12日（金）  
（2日間）  
会場：神戸有馬温泉 瑞宝園 大会議室  
（神戸市北区有馬町 1751）  
議題：IMT-2000 の将来と課題  
参加者：31名

#### 会議模様：

第 3 回となる今回は，第 2 回に引き続き，IMT-2000 とモバイルマルチメディアに関する先端技術について，一般講演 4 件，パネル討論 1 件という形式で韓国 SK Telecom R&D Labs の Vice President, Dr. Byung Moo Kim 氏を迎えて 2 日間にわたって行われた。

今回は初めての地方開催となったが，大阪大学小牧先生のホストにより「こじんまりと，座敷で顔をつき合わせながら，ざっくばらんに議論を交わせる場」という本ワークショップの趣旨にふさわしい討論の場が提供され，文字通り，研究会だけでなく懇親会終了後も形式にとられない活発な議論が出席者の間で真夜中過ぎまで続けられた。

以下，各開催日における概要を示す。

#### 1. 第一日目（一般講演）：

富永委員長から歓迎と開催趣旨説明の挨拶がなされた後，チュートリアル講演として赤外線データ通信技術の最新動向の紹介が早大松本先生より行われた。カメラ - PC 間，カメラ - ビデオプロジェクト間の通信デモを交えながら，通信速度や距離，無線通信との特性の違い，マルチスレッド処理の可能性，無線・赤外線通信の自動判別型モバイル端末の可能性といった興味深い話題が出席者との間で活発に議論された。

続いて，複数移動通信事業者が共存するマルチオペレータ環境でのゾーン構成法，OFDM 変調方式のガード区間を利用した周波数干渉除去

と空間分割多重への応用，固定長符号化と巡回符号をウェーブレット変換係数に適用した誤り耐性をもつ静止画像伝送方式，についての研究発表が行われ，一件一件，出席者と発表者との間で盛んな質疑応答が交わされた。

#### 2. 第二日目（特別セッション）：

服部先生（上智大）の座長により，富永先生（早大），赤岩先生（九大），山本氏（NTT 移動通信網），B.M.Kim 氏（SK Telecom）の 4 氏をパネリストとして迎え「IMT-2000 の将来と課題」というテーマでパネル討論が行われた。服部座長による，移動体ネットワークの作り方は ATM ベースに縛られすぎているかとの問題提起に始まり，移動体ネットワークのオープン化，料金体系と収容能力の問題，韓国と日本における ISDN と ATM のかわり，LAN 系の視点をもっと重視した移動体ネットワーク構築の提案，モバイルマルチメディア通信を取り巻く産業構造の「ブレンディング」と真のマルチメディアサービスドライブとしての SSC（Super Smart Card）によるビッグバンの可能性等の大変興味深い議論が出席者とパネリストの間で活発に繰り広げられた。今後も異分野の研究者を一堂に集めた広い視野での議論を進めていくことで産業界の境界をたばねていくのが MoMuC の役割であるという点が再認識され，大変盛況のうちに終了した。（執筆者，宮森 恒，通信総研）

#### 通信ソサイエティマガジン掲載のお知らせ

ニュース編集幹事 釜谷 幸男（東芝）

通信ソサイエティでは会員の皆様を対象と致しましたソサイエティマガジンの電子出版を本会の WW ホームページ上で試行しております。

これまでに興味深い解説記事を中心に第 1～3 号までの通信ソサイエティマガジンを発行致しました。現在は、『xDSL の国内ケーブルでの適用について』が掲載されておりますので，会員の皆様からのアクセスをお待ちしております。また，編集委員共々，今後，さらに興味深い内容の掲載を検討していきたいと考えておりますので，是非とも閲覧後にアンケートへの回答やご意見，ご感想をお送り下さいますようお願い申し上げます。

バックナンバー（第 1～2 号）も併せて掲載しておりますので，こちらもご覧下さい。

### 【利用方法】

通信ソサイエティマガジン(第3号)は、電子情報通信学会通信ソサイエティの  
U R L (<http://www.ieice.or.jp/cs/jpn/>) から直接アクセスできます。

---

編集後記 : 10 年くらい前に“Confetti Generation”というタイトルの本を読んだ記憶があります。紙ふぶきのように情報が空から降ってくる時代が到来しつつあることにちなんだタイトルです。確かに我々に届く情報の量は増加の一方を辿り、人間の処理能力では処理不可能のレベルにまで達しているようにも感じられます。電子情報通信学会くらいは高質な情報を的確に会員の皆様にお伝えできるようであって欲しいなどと切に思うこの頃です。  
(森川博之・ニュース編集幹事・東大)



